

# カリキュラム

機構施設名：北海道職業能力開発促進センター  
 実施機関名：株式会社日本マンパワー

<b>B. 組織マネジメント</b>	<b>組織力強化</b>	<b>現場社員のための組織行動力向上</b>
--------------------	--------------	------------------------

<b>コースのねらい</b>	企業の仕組みや、業界の背景について理解を深め、一般社員のうちから経営者の視点を理解し、上司の補佐や後輩の育成を行い、生産性向上のためのビジネス感覚を養うことにより、自ら主体的に社内の問題を発見・業務改善を現場からは発信するために必要な知識、技能を習得する。
----------------	--

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	
	1	企業組織と生産活動	(1) 企業経営の仕組み 企業の成り立ちや組織構造、利益の仕組みを理解し、経営がどのように成り立つのかを学ぶ。  (2) 生産活動の目的と目標 生産性向上や品質維持、コスト削減といった生産活動の目的を整理し、組織としての目標と個人の業務がどのように結びつくかを考える。  (3) 経営者視点とコスト意識 経営層がどのような視点で事業を運営しているのかを理解し、コスト意識を持つことの重要性を学ぶ。	2.0
	2	状況変化に対応する現場力	(1) 現場力を高めるための要素 現場力を構成する「コミュニケーション力」「課題発見力」「問題解決力」などの要素を整理し、現場での実践方法を学ぶ。  (2) 問題発見と改善姿勢 いち早い問題発見や改善に向け必要な力を養う、PDCAサイクルを体験する。  (3) 現場力の継承と人材育成 次世代へ引き継ぐためのポイントや、OJT・メンター制度の活用方法を考え、継承の意識を持つことの重要性を学ぶ。	2.0
	3	フォロワーシップと組織行動力	(1) フォロワーシップとは 組織におけるフォロワーの重要性を理解する。リーダーシップとの違いを知る。  (2) フォロワーの役割 現場で主体性を発揮し組織の成長に貢献するフォロワーとしての具体的な役割と行動を学ぶ。  (3) 管理者への提案方法 上司や管理者に対して効果的に提案を行うためのスキル(論理的な伝え方、データの活用、タイミングの見極め)を学ぶ。	2.0
合計時間			6.0	

<b>カリキュラム作成のポイント</b>
企業の仕組みや自身の役割認識から求められる行動について、個人ワーク、グループディスカッション等を通して楽しく、分かりやすく理解できるようカリキュラムです。

<b>訓練に使用する機器等</b>	
<b>●機器・ソフトウェア(受講者用)</b>	<b>●機器・ソフトウェア(講師用・その他)</b>
<b>●使用するテキスト</b>	<b>●その他</b>
オリジナルテキスト	演習 ・チームでの経験学習サイクル演習 ・課題発見と改善策の検討 ・自社業務のPDCAについてのディスカッション

<b>利用事業主に用意をを求める機器等</b>	<b>備考</b>
・プロジェクタ ・スクリーン ・ホワイトボード	